SUPER FAMICOM®

ゼルダの伝説®

神々のトライフォース

1

かぢばあたる

SUPER Famicom®
© Nintendo
ゼルダの伝説®
神々のトライフォース
1
かぢばあたる
PRESENTS

第1話●司祭アグニム……3
第2話●ゼルダ姫……33
第3話●脱出……65

第4話●旅立ち……97
第5話●勇者の心……127
第6話●マスターソード……159

第1話　司祭アグニム

★この作品はフィクションです。実在の人物・
団体・事件などには、いっさい関係ありません。

ガラ ガラ ガラ ガラ

ガラ ガラ

無礼であるぞ小僧!!

そうだぞおわびしろリデル!

ぐい

これこれ手荒なマネはいかんぞ……

ジャ…

さあ坊や

その犬を地面に寝かせなさい

ケン!!
ぴく…
あははっケン
やったあ!!
ありがとう
ございます!
本当にありがとう
ございました…
このお礼は……
よいよい
気にされるな
困ったことがあれば
いつでも力に
なりますぞ

では
失礼

……
神だ…
あの力…そして
慈悲の心…
まさしく神だ…

今日は
カカリコ村に
向かわれる
そうだ
あそこは
はやり病が
ちょっとひどかった
からな……
でも大丈夫さ！
アグニム様に
出来ないことなんか
あるもんか！

アグニム様は
このハイラルの
救世主なんだ！

ぶちっ
ガしっ
んーっ うまい！
今年も上出来だぜ

なんだあ リンク
またサボリかあ
よお
ラスカぁ
リンゴ食う?

おじさんが
血眼になって
探してたぜ
ひょ
あとで
おしおきされても
知らねえぞー
ぽい

こんな
天気のいい日に
マジメに修行なんか
してられるかよ
そりゃ
ごもっとも
ヒュン
スタッ

それにおまえ
こーんな平和な
ハイラルに剣術なんて
要ると思う?

剣術……
剣…か

木刀▲

なあ 今日は まよいの森探検に 行こうぜ！
まっ…まよいの森!? そりゃマズイよ！

ホラ こないだ 司祭に任命された ……ええと…
アグニム
そう そのアグニム様が 立入禁止区域に しちゃったじゃん

アグニムか…
どうも あの 悪人面は信用 できねえなあ

バカ おまえ 滅多なこと 言うな！
城の関係者に 聞かれたらただじゃ すまないぞ！

いーよ 俺一人で 行くもんね
マスターソード 見つけても触らして やんないもんね．

マスターソードって…あの伝説の勇者の剣ってヤツ?
本当にあると思ってんのリンク……
わかんねえから探検に行こーって言ってんだい!

見つけたぞお〜〜〜

今日という今日は逃がさんぞ!
来いラスカおまえもだ!

なんだよラスカ偉そーなコト言っててめーもサボリじゃねーか!
おっ…俺はちょっと休憩をだな…
やかましいい!!

はあア〜〜〜っ!!
ヒュン
ひょい
ヒュ
ヒュ
ヒュ
ブン
ガッ

ぐぐっ
シィィィィイーン
ヒュッ
にっ
ズバッ
ギュンッ
ヒュン
ザクッ

こら
リンク!!
だっ
がっ
あっ!
あたアっ!!
どげし

完全に気配は断っていたハズなのに……
ああ……わしにもわからなかったよ

リンク君…また腕を上げましたね……
全くだわしとて本気だったのに
ぽん
ぽん

しかし実際大したヤツだ
免許皆伝というのも大仰な話ではない

さて…王室騎士団長の君が城下に出て来たということは
内偵結果を聞かせてくれるわけだな…?
はっ

単刀直入に申し上げます
すべては私達の推測通り!

むう……
やはりな
で…いつ
動くかは
わかったか?

今宵は新月……
私の魔術知識に
間違いなければ
今夜かと……
!!

信用できるのは
君だけだ……
我等二人で
処理しよう
承知致し
ました

さっきまで
あんないい天気
だったのに……

いやな雲だ…
ひと荒れ
来そうだな
たやすく夜陰に
乗じられます…
天は我等の味方
ですとも

ゴゴゴゴゴ

ばさっ
さささっ

カッ

ギュッ
ぱちっ

ガカッ

伯父さん…どうしたのさこんな時間に……?
おおスマンな起こしちまったか

王室騎士団の夜間訓練があるんだ朝には帰る
だって外は嵐だぜ?こんな日に…
ゴオオオ

大人には大人の都合があるんだ
おまえは子供らしく寝てろ
ちゃっ

バターン

ばふ
なんだい 子供子供って……

ちょつと待て… 夜間訓練は 良しとしよう
なんで家から 装備を固めなきゃ いけないんだ？

それに城に 行く時はいつも 迎えが来るハズ なのに…
こんな嵐の日に それも無いなんて ちょつと変だな……
ガタ
ガタ
ヒュウウ
ウゥ

やめやめ 考えるのやめ！
たまには こーゆーコトも あるでしょ

でも…… なんだろう……
なんだか イヤな予感が する……！

カッ
このような時間に
どちらへおいでかな
司祭アグニム殿

その先にはゼルダ姫の寝所しかないのだが？
ずいっ

これはこれは騎士団長に剣術指南
お二人こそ何をなさっておるので？

まあまわりくどい話はナシにしましょう

貴方がたどこまで掴んでいるのかな？
ギッ

我々もまわりくどい話は苦手でね

剣にて語らせてもらう!!

ふっ…
ふははははは!!

ド ガッ

えー!?
ザアアアアア

夜間訓練なんてやってない!?

当然だろこの天気じゃ
それ以前に今日はそんな予定すら組んでないよ

伯父さんがウソを……?
一体なんのために……?

じゃあ あの…うちの伯父……
剣術指南のザンジは来ませんでしたか?

ザンジ様ならさっき来たけど?
団長に話があるとかで……
ガカッ

ヘンだなァ…
ヘンだぞこりゃ

怪しいニオイが
ぷんぷんだぜ

ドガァ

うおおおお!!

団長ー!!

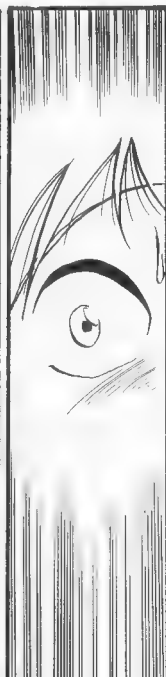
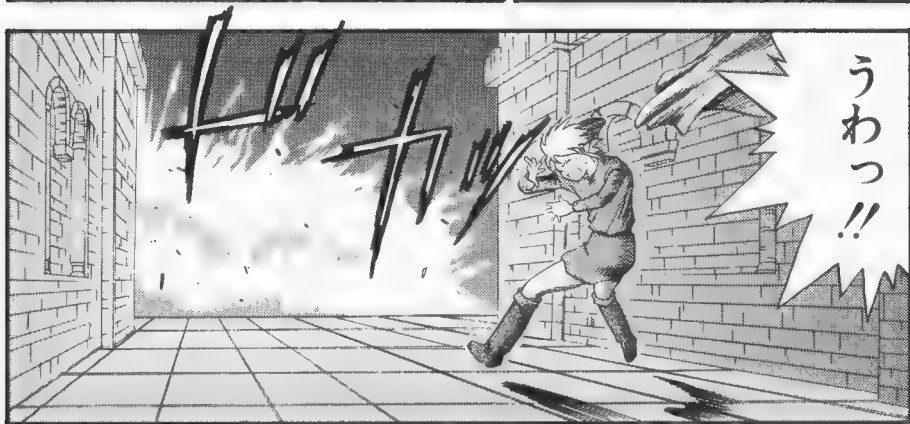
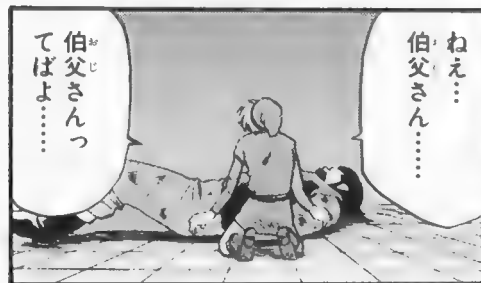
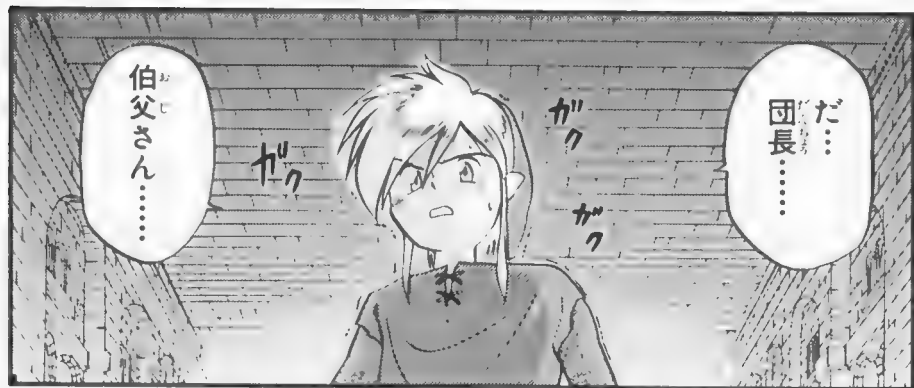
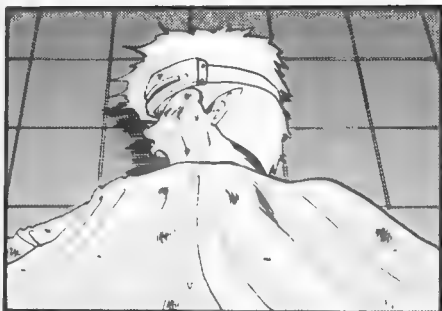
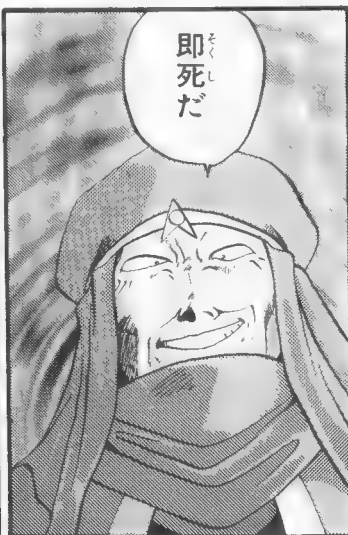
ズダァッ

さすがは騎士団長に剣術指南

常人とは比ぶべくもないタフさだ

アグニム……貴様〜〜〜!

おっと逆恨みはよしていただきたい

もとはと言えば先に手を出したのは貴方がたですからな

まったく人間とは愚かな生き物だ
他人より少し優れた力を持つとすぐつけ上がり
知らなくて良いことを知りそれがもとで命を落とすハメになる

貴方がたのようにね

!
ゴゴゴゴ
なんの音だ？
こっちか！
ゴゴゴゴゴ
うわっ!!
ドガカッ

だ…
団長……
ガク
ガク
ガク
伯父さん……
な…
なんだよ
こりゃ……
なんなん
だよォ…
ねえ…
伯父さん……
伯父さんっ
てばよ……
おじ…さ…
お…お…

伯父さあああん!!
ふふははははは

第2話 ゼルダ姫

伯父さん!!

しっかりしてよ伯父さん!!

目を開けてよー!!

アグニーム!!!

ビリ
ビリ
ビリ
ビリ

驚くべき生命力だな非常識な奴め!

ゴゴゴゴ
まあよいもう一撃加えれば確実に死ぬ
甥っ子もまとめて地獄へ送ってやるわ!

ゴ。。
む!?

ヒュゴッ

ガッ

私を忘れてもらっては困るな…
団長!

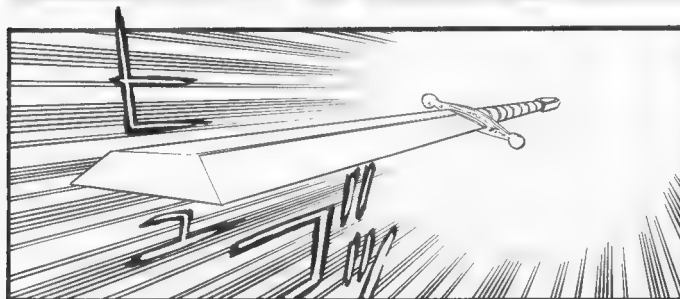
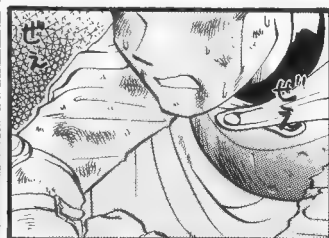
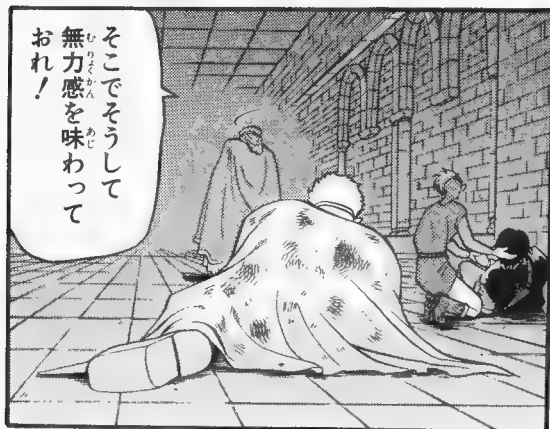
ぜぇ
ぜぇ

威勢がいいのは
認めるが…
そのダメージで何が
出来るというのだ？

そこでそうして
無力感を味わって
おれ！

なんということだ
私ともあろう
者が…
魔力が底を
つきかけている…
儀式のためにも
一旦退くか…

何をしてる
リンク…
奴を…
アグニムを
追え…！

そんな…二人共
大ケガしてるのに
放っとけないよ…
わしらのことは
いい……
早く追うんだ！

奴はハイラルに
災いを導く
悪僧だ…
日頃の善行も
悪事を隠すための
カモフラージュに
すぎん…

そして
今 奴が狙うは
ゼルダ姫!
ぐっ
姫を救えるのは
おまえをおいて
他にいない…

さあ…この
剣と盾を持って
奴を追え!
姫をお守り
するのだ!

そ…そんな…
出来ないよ俺…
相手は魔法使い
だし…
伯父さんと団長を
倒した奴になんか
かないっこないよ!

思い出せ…
今日のことを
おまえはわしを
圧倒したじゃ
ないか…
わしの打ち込みは
全力だったのに
なァ…

その歳でよく
ここまで強く
なったもんだ…
昔ならラスカ君に
負けて帰っちゃ
ピーピー泣いて
たのにな…

おまえの強さは
本物だ
このわしが
保証する

それともリンク…
おまえわしの言うことが
信用出来んか…？

うっ！
ガハッ
伯父さん!!

おまえを
巻き込みたくは
なかったが…
悪いことばかりでも
ないか…

最期に
おまえに会えた
ものな…

ああ…
いい気分だ

おまえの腕の中で
おまえに看取られて
逝けるとは

わしゃあ
幸せ者だよ…

へっ…なに
言ってんだよ
伯父さん…

がばっ

伯父さんが
死ぬわけ
ねえじゃんか…

はっはっ…
本当にそうなら
いいんだがなあ…

あいにく…
そうも言って
られん…

信じてるぞ…

お…

おじさ…

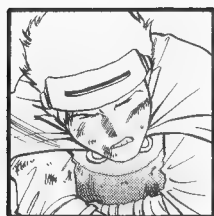
うわああああああ

目を開けろよ
伯父さん!!
こんなんで
ヤル気出させせよー
なんて卑怯だぞ!!

オイ
聞こえてんだろ
伯父さん!!
いいかげん
芝居は
ヤメロよ!!

ウソだと
言ってくれ
よおォ!!

ちくしょう…
ちっくしょう…

…な
…くな
泣くな リンク
！
だって… だってラスカは 素手なのにボク 負けちゃったん だよ……
くやしいよ…！
まあ そうだろうな
で…くやしい おまえは泣けば 気が済むのか？
そんなこと ない！
そんなことない けど…でも…
負けてくやしい 泣けてくる それはわかる
しかし 泣いてばかりじゃ 次も負けるぞ

次？
そう
次だ
男ならいつも
前を見ろ
今日負けたら
明日勝てばいい
ぐっ
でも
ラスカのヤツ
強いんだよ
そうだな…
あの子は確かに
強いな…
才能がある…
では
問題です
強い相手に
勝つにはどうすれば
いいでしょう？
そうだ
今やるべきことは
負けを悔やんで
泣くことじゃない
常に考えろ
今この瞬間に
やるべきことを！
………
練習…

今この瞬間にやるべきこと…

今俺のやるべきこと

それは…

アグニムを倒すこと!!

でも…どんなに
勢い込んでみても
涙が止まんないよ…
団長さん…
こんな俺を見たら
伯父さん…笑うかな?

かも知れ
ないな…
だが
その涙はきっと
キミに力を与えて
くれる!

ありがとう
団長さん!

今行くぞ!
アグニム!!

あの二人に魔力を使いすぎた…
消音障壁魔法も効果時間があとわずか…
急がねばな…

！

気のせいか…
ギギ
ギギ
ギギ
ギギ
ギギ
ギギ
アグニィイイイイイム!!
!?
ばっ

上…!?

スタッ
ズッ
ピッ

ふー…
ふー

鋭い…！
この小僧さっきの二人より強いぞ…！

ふん

仲々見事な連続技だが
その程度の力量で私を倒すつもりか？

その太刀筋…
剣術指南の
弟子だね？

あんな男の
弟子であれば
その鈍い剣技も
うなずけるわ！

だっ
伯父さんの
悪口を言う
なああ!!
かかった！
子供はすぐ
頭に血が上る！
ガバァ

死ね!!

なんと！
かわしたか！
とどめだあァ!!

ヴゥ…

やった!!

うお!?
シュバァァ

ヴヒュウ

き…
消えた…!?
バカな…!

ふん…いつまでも感傷的な子供の復讐ごっこなどつきあっておれん
フッ

しかし奴の腕は後々危険だ
手を打っておいた方がよかろう…
むん!

たいした腕前たな小僧
たか時すでに遅し
アグニム!?どこだ!!

ゼルダ姫は我が手中にあり!
なんだと!?

その剣技で出来るというのならば小僧!
見事うばい返してみよ!

ちいっ!!

ゼルダ姫を
お守りするのだ

わしは
おまえを
信じてるぞ

ばっ
何っ!?

キイイ

わっ！
ちょっ！
やっ…やめて
ください
ゼルダ姫！！
えいっ！
えいっ！
ヒュン
ヒュン
ヒュン

今夜現れることは
わかっていました！
覚悟なさい
アグニムの手先！
ちゃっ！

アグニムの
手先ィ？
たたたた
たー！！

違います
姫様！
ボクはその
アグニムから
姫様をお救い
しようと…！

だまされませんわ！
あなた方の計画はすべてお見通しです！
全然見通してねえじゃんか
剣を納めてください…姫！
え!?
ガクン

私をただの姫とあなどらぬほうがよいですよ!

確かにいい腕してるぜ…
いやそーじゃなくて…!

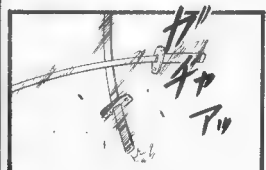
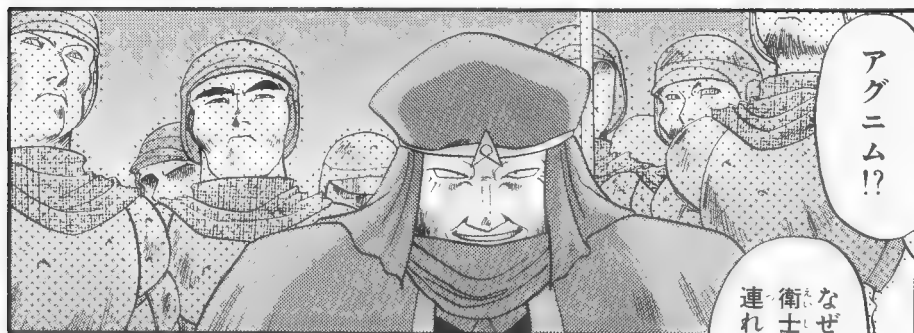
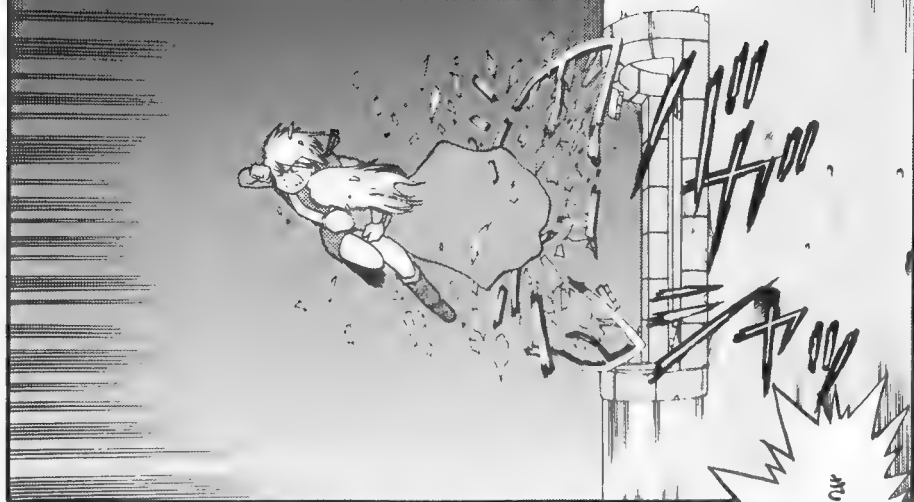
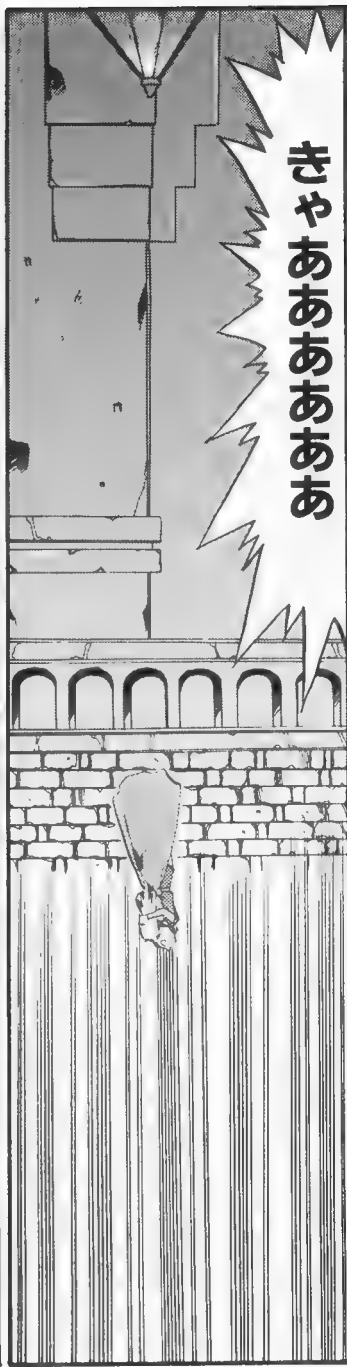
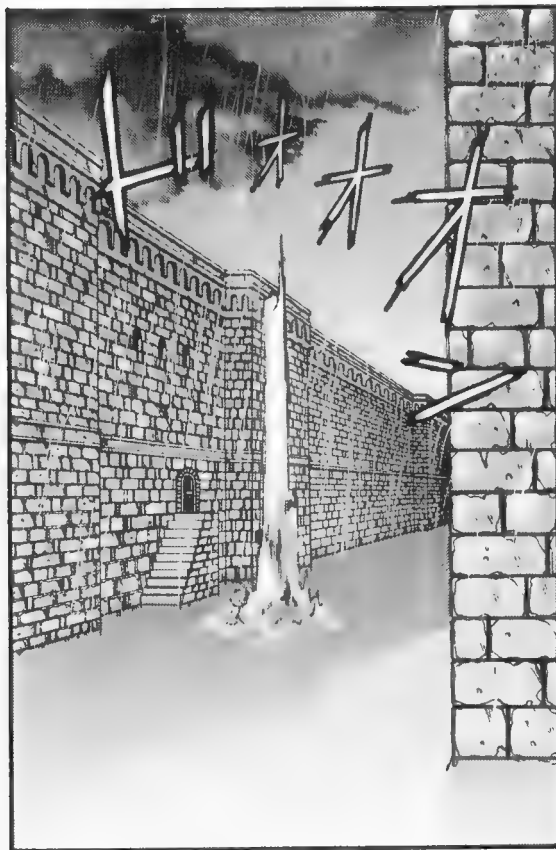
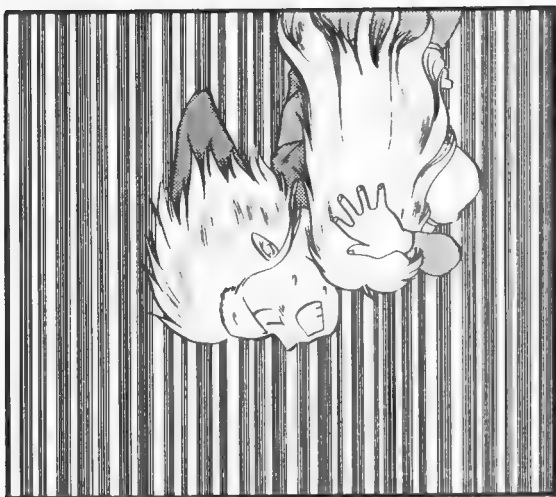
であえー侵入者だ!!
何ィ!?
しまった…ハメられた!
姫の寝所に賊が忍び込んだぞー!!
ガバァ

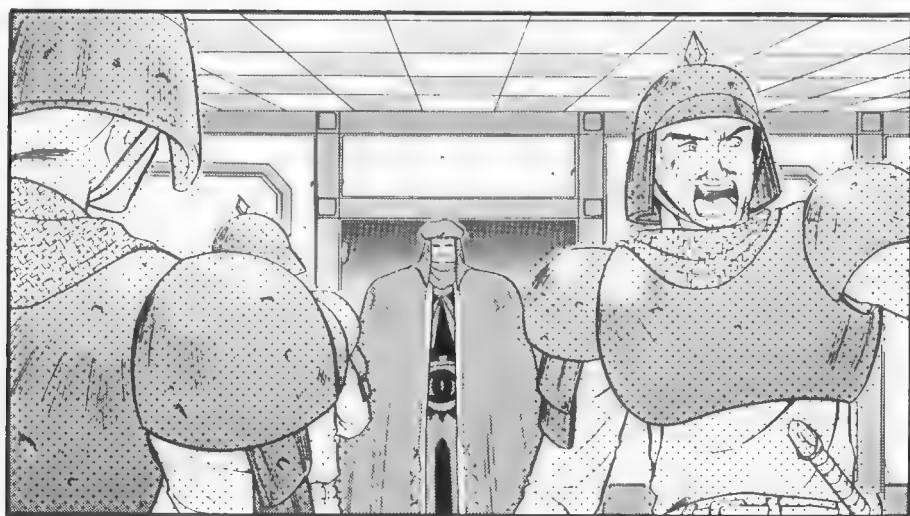
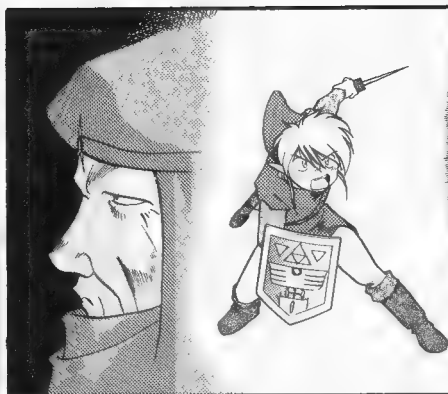
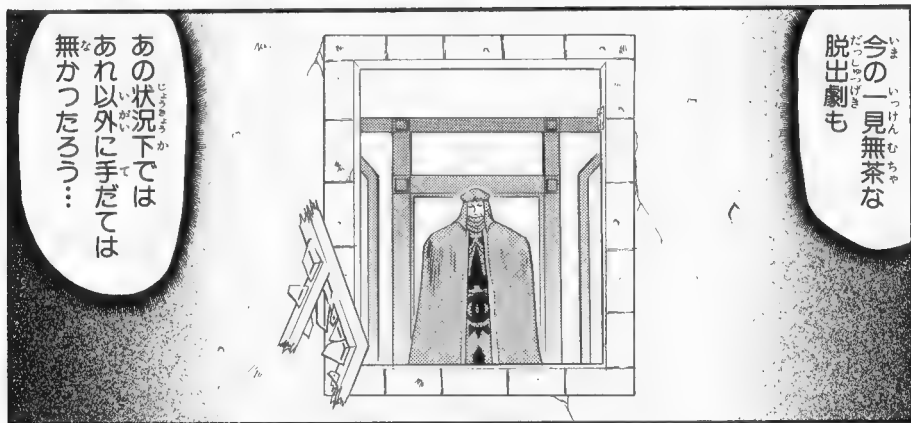
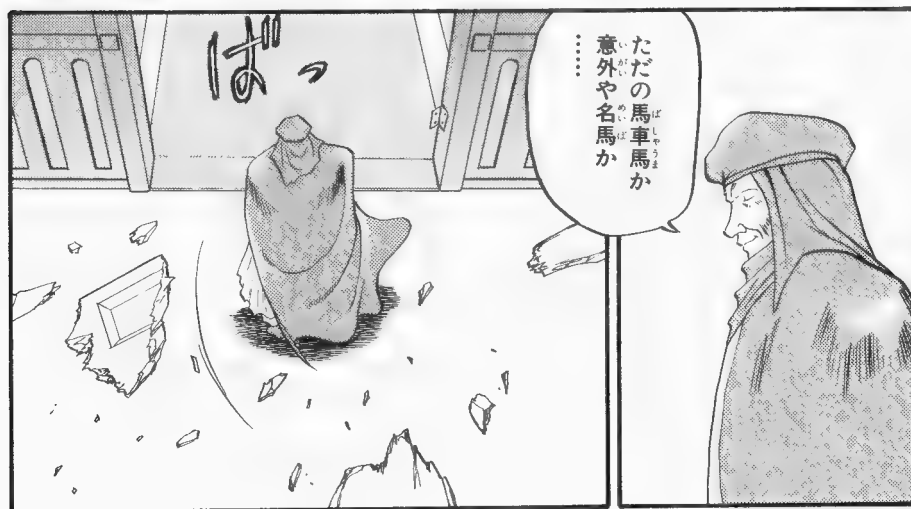
たー!!
ビュン!
うはっ!!

ドカ ドカ ドカ

アグニム!?
なぜおまえが衛士隊を連れて…!?
ではこの者は……!?
チクショー八方塞がっちまった……
あ～もォ面倒臭えな～!!
あっ!
失礼します姫!
ばしっ
……
がばっ
む!
追え!
窓から逃げるぞ!
ガチャアッ

ズガシャッ
きゃあああああ!!

第3話　脱出

きゃああああああ
ドォオオン

城外警備隊に通達!!
賊は南側の堀に落ちたぞ!!

姫も一緒だ!!
城兵全員叩き起こせ!!
捜索隊を編成する!!

あの小僧の技の切れ…
騎士団長はおろか
剣術指南をも上回る
ものだった…
今の一見無茶な
脱出劇も
あの状況下では
あれ以外に手だては
無かったろう…
ばっ
ただの馬車馬か
意外や名馬か
……

捜索隊全員に通達!!
賊は発見次第斬首せよ!!
ばっ
ただし姫には
傷一つ負わせては
ならん!!

賊は子供一人だが
油断するな!!
ドカ
ドカ
かなりの手練だ!
心してかかれ!!

ぐっ…

リンク君…
なんとか姫を
連れ出せた
らしいな…
上手く脱出
してくれよ…
ガコ

ギュ

ゴゴゴゴゴ

ザンジ様…

一人おめおめ逃げる私をお許しください…

こっちだ！こっちに剣術指南と騎士団長が…！
アグニーム!?

ザッ

ゴゴゴゴゴ

ゴゴォォン

うっ！
ザンジ様!!

団長の姿がありません…
わかっておる

逃げたか…
まあよい

いずれ小僧ともども片づけてくれよう…

どうか!?
見当たりません!

おまえ達は正面門を固めろ!
了解!!

我が班は西門方面を洗い直す!!
行くぞ!!

さあ立ってください姫……
城外へ脱出するんです

姫!

パーン

先程から無礼ではありませんか!?
乱暴な振る舞い…強引な行動…もっと他に手段が…!
今はそのようなことを言っている場合では……………
なんですか・・・・・そのようなこととは!だいたい貴方…

姫!!

びくっ

ボクは今がどういう状況なのか良く理解出来てません…
しかし今やるべきことは一刻も早く城外へ脱出すること
それは姫様もわかっておられるはずです…!

あっ…
すいません言い過ぎました…!

この少し先に王族しか知らない秘密の抜け道があります
そこまで行ければ安全に城外に出られるハズです

助かります
急ぎましょう
ギュ…
あの…
な…なんでもありません…
行きますよ！
はっ
ハイ
？
〰

よっ…
ちっくしょ
見えねーな…

あ

とうちゃん！
ねェねェなんだって？
何が書いて
あったのさ？

とうちゃん！
お…おう
ラスカ…

昨日の夜
城で二つの事件が
あったらしい…
一つはゼルダ姫
誘拐事件…
そして犯人は
リンク
らしい…
ええ!?

あいつが!?
そんなまさか…
何かの間違いだよ
そりゃ!!
どなるな!!
俺だってそう
信じたいさ…！

しかしアグニム様を
はじめ衛士隊が何人も
証言しているらしい
どうも本当の
ことみてぇだな…

さ 帰るぞ
ラスカ…

ねェとうちゃん…
二つの事件て言ったよね
もう一つはなんなのさ?

……
人が死んだ

ザンジが殺された…
え…?

お…おじさんが…？
ウソ…

バカげた話さ…
しかもザンジ殺しの犯人もリンクだってこったぜ…

そっ…
そんなバカな話があるわけねェじゃんか!!
ああ全く
その通りさ!!

しかしそれもアグニム様の証言だ
…誰も逆らえん…
リンクは重罪人としてハイラル全土に指名手配されるそうだ…

リンク…
一体何があったんだよ…

お帰りなさい
神父様
外の様子は
いかがでしたか？

リンク君は
姫様誘拐と
ザンジ様殺害の
容疑で
ハイラル全土に
指名手配されて
おります…
そうですか
……
民衆は
リンク君を
信じてはいる
ものの…
アグニムの
カリスマ性との
板ばさみにあって
混乱しております
アグニムという男
…思っていた
以上の強敵です…
俺はなんにも
知らないのに
……

なぜなんですか!?
なぜ伯父さんは死ななきゃならなかったんですか!?

なぜ俺が罪人にならなきゃいけないんですか!?

なぜ姫様が狙われているのですか!?

なぜ!?

なぜ!?

そうか…城からの隠し通路…後で封印しておかねばな…

神父様! 何をなさっているのです!

早く治療呪文を!

すまない
リンク君…
私一人おめおめ
生きて戻るとは…

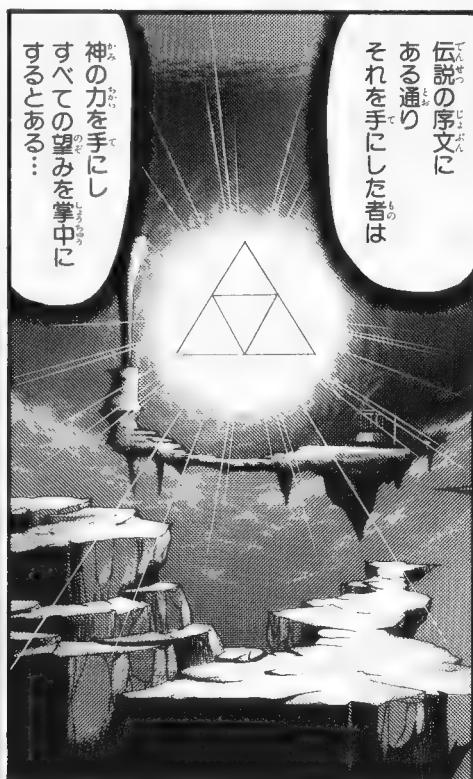
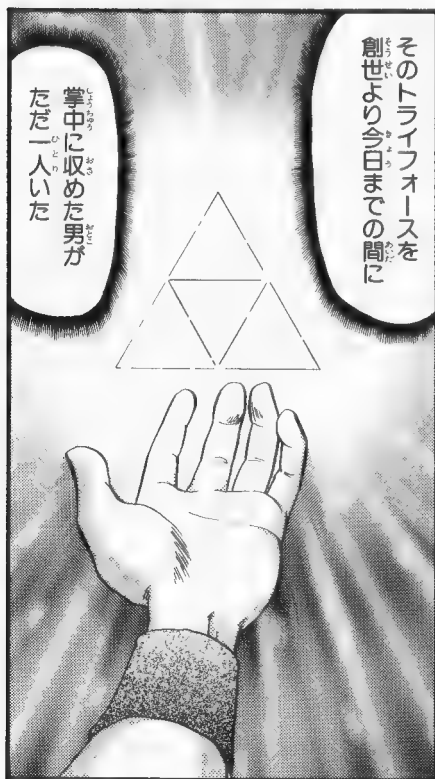
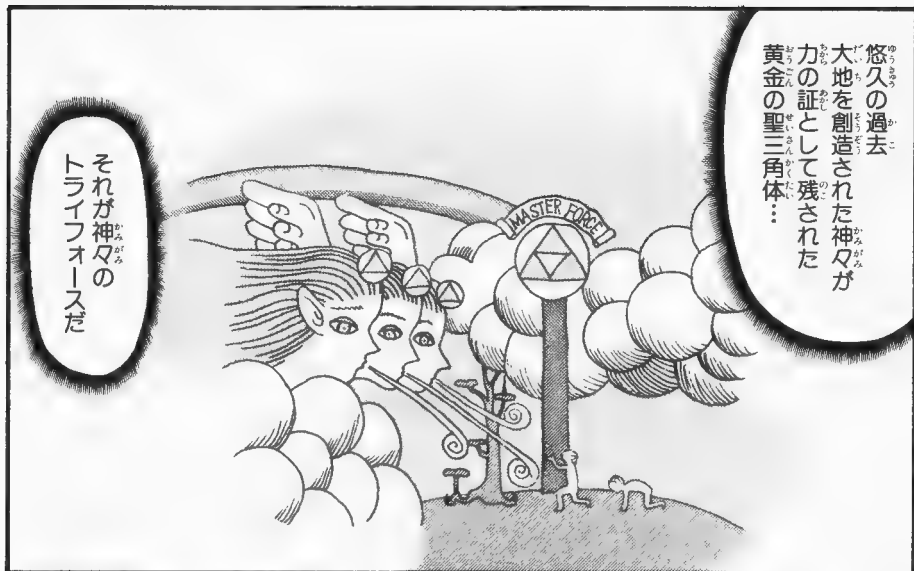
そんな言い方
しないでよ
生きてて
良かった
じゃん…

それより
聞かせて
くれるよね
・・・
すべてを
さ…

…民間人を
巻き込みたくは
なかったが…
現状ではそうも
言ってられない
様だね…

「封印戦争」は
知っているね？
う…ん
伝説で残ってる分
くらいはね…

悠久の過去
大地を創造された神々が
力の証として残された
黄金の聖三角体…
MASTER FORCE
それが神々の
トライフォースだ

伝説の序文に
ある通り
それを手にした者は
神の力を手にし
すべての望みを掌中に
するとある…

そのトライフォースを
創世より今日までの間に
掌中に収めた男が
ただ一人いた

これに対しハイラル王国は七人の賢者と騎士団で対抗した

壮絶な戦いの末ガノンとその力を封印し

ハイラルは再び平和を取り戻したという…

それを皮切りに一人また一人と少女が消えた

もはやわかるだろう そのすべての少女は七賢者の子孫達だ…

これまでに六人の少女が消えた…

そういうことさ…

七人目の標的は私なのです…

!!

大魔王
ガノンの復活です

それを知るのは今ここにいる四人のみ

無理にとは言わぬがリンク君…我々は今少しでも戦力がほしい…

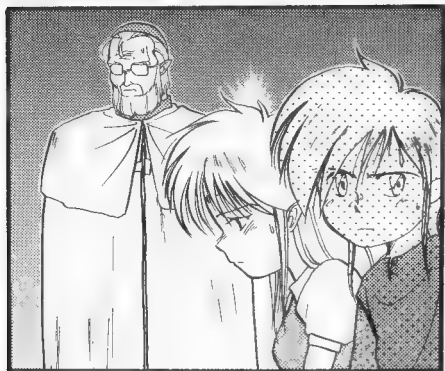
一緒に戦ってはくれないか…!?

伯父さんの仇を討ちたいよ…！

俺には父さんも
母さんもいない
顔も知らない…
でもいいんだ…
伯父さんが
いたから！

けど
その伯父さんも
もういない…

君には
伯父さんから
受けついだ剣術が
あるじゃないか！

しかしリンク君…
忘れちゃいけない
ザンジ様は
君とともに
ある

キミの技はザンジ様の技
その技でアグニムを倒してこそ本懐
戦う理由なんてどうでもいいさ…
団長ォ…

ぱたん

良いのですか…？
あのような子供を
加えて…
子供？
姫様と同い年
ですよ？

団長っ!!
きーっ

確かにまだ子供
ではありますが
その力はバカに
出来ませんよ
何せ私より
腕は立つのです

騎士団長の
あなたより!?
私どころか
剣術指南のザンジ様
より上手ですよ

信じられない…
いずれわかります

腕が立つのは良いですが…
人前で涙を見せる男子はやはり信じられませんわ

そうでしょうか？

男子とて愛する者のために流す涙なら
尊いものだと私は信じます

きっとね…

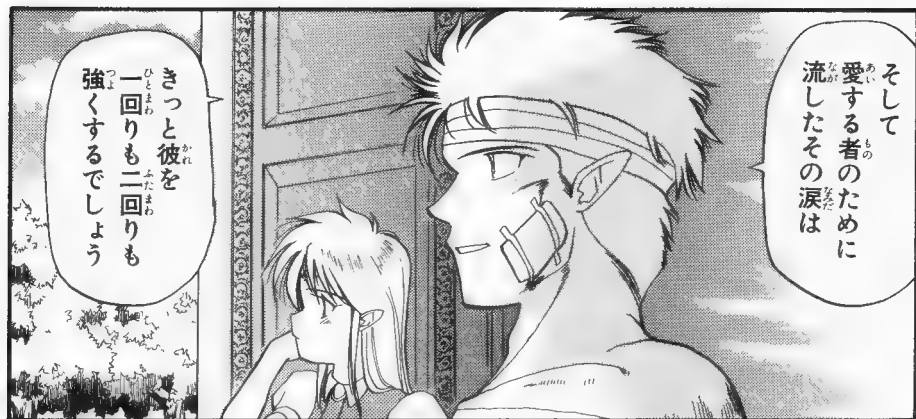
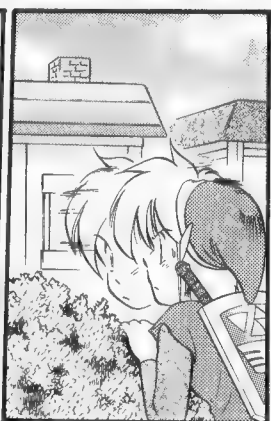
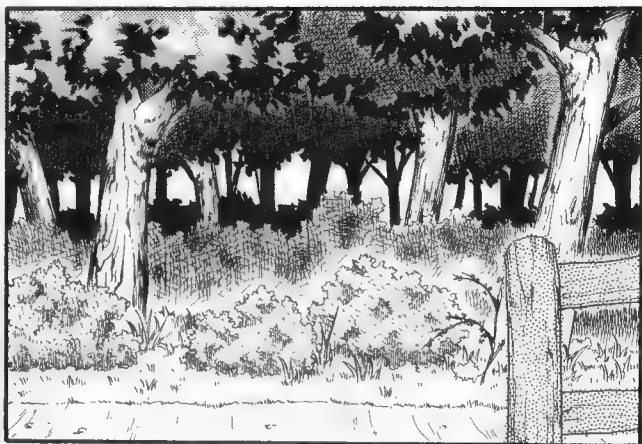
伯父さん…

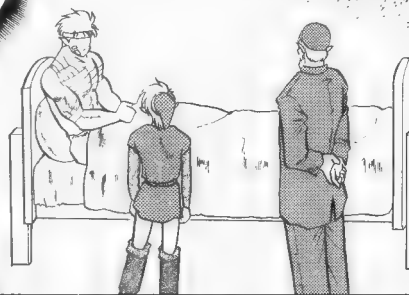
にゅ

チェッ…
こそこそしちゃって
本当の犯罪者みたい
だなァ 俺…

ばっ
ゴロロロッ

リンクだ!!

ひーっ

おたずね者だ!!
兵隊さーん!!

ヤバ〜〜っ
やっぱ一人
先走ったのは
マズかったかな〜〜〜

今のままでは
アグニムを倒すのは
難しいでしょう…

そんなこと
ないよ!

いや神父様の
言う通りだ

ヤツの魔力を
あなどっては
いけない

しかし 伝承によれば
マスターソードには
三つの封印が施されて
いるようです
すなわち
智恵・力・勇気の
紋章伝説です
それらは封印戦争時代の
三つの遺跡の奥にあり
太古の番人によって
守護されていると
あります

わかった!
じゃ 速攻行って
とって来るよ!
ちょっ…!
待つんだ
リンク君!

一人じゃ危険だ!
せめて私の傷が
治るまで
こらえてくれ!
いてて
そんな
悠長なこと
言ってらんないよ!
いいえ
団長の言う通り
です
チャッ

姫…

事は一国の命運を左右するのです
軽率な行動は慎んでください

唯一人の肉親を殺された辛さは私の想像をはるかに超えたものでしょう
しかしだからこそこらえてください

あなたならわかるハズ…
自分と同じ思いをする者を見るのはしのびないでしょう

ちぇっ
なんだい団長も
姫様も…
まるで俺一人で
動いたら絶対失敗する
みたいなこと
言ってくれちゃって…
俺の剣技は
ハイラル最強の剣士と
いわれた伯父さんの
お墨つきだぜ…
太古の番人が
なんぼのもん
だってんだ！
くわ

ぐっ
だだん
要はアグニムさえ倒しゃガノン復活もなくなるってワケだ
ぶんぶん
ことわざにもあるぜ「結果オーライ」
ヒュッ
まずはマスターソード
そのための三つの紋章……だな！
タッ
リンクだ!!
おたずね者だ兵隊さーん!!

あ〜〜〜
えらい目にあった…
しかしなァ
……

紋章があるっていう三つの遺跡…
ドコ行くにしてもやっぱカカリコ村突っ切らないとダメかァ…

おたずね者はツライぜ…

タッ

ガ
キ
ッ
!!
ぬ
う
気のせいか…
?
オジさん!
そっちはヤバイぜ
警備兵がウヨウヨしてる
………
?
どうした? リンク…

村じゃ俺
罪人扱いなんでしょ？
俺に　かかわったのバレたら
オジさんもヤバいよ…
まあそうかもな
でもアグニム様の
言い分も
ヘンだしよ
大体ザンジのヤローを
リンクが殺したなんて
誰が信じるよ？
当たり前だよ!!
伯父さんを殺したのは
当のアグニムなんだ!!
なにィ!?
それもまた
無茶苦茶な
話だな…！
教えてくれるか…
城で一体何が
あったのか…
あああ!!

…ゆ…
バガッ

許せねえ アグニムの野郎!!
俺様の天分八心拳で ブッつぶしてやらあァ
と…とうちゃん!

オジさんが味方してくれたら心強いけど …いいよ やっぱし
なんでだよ!?

俺 自分が悪いことしたなんて思ってないけど世間じゃ犯罪者だしね
オジさん 共犯者になっちゃうぜ
うん うん

それに……
アグニムを倒すのは
俺じゃなきゃ
ダメなんだ……!

む…ぅ
しかしなァ
……

にィ〜〜

少々頼りないが
ラスカをお供に
つけよう!
あァ——!?

ヤダよ俺ェ!!
んなコトしたら
俺まで犯罪者扱い
されちまう
じゃんかよう!!

未成年だから
大丈夫なんじゃ
ねえか?
じゃあ なんで
同い年のリンクは
追われてんだ!?

犯罪者
扱い…
罪人…

犯罪者で
悪かったなあ
コンチクショー!!
おおっ!?

ムカ
ムカ

オジさんならともかく
ラスカなんかこっちから
願い下げだい!!

なんだと
このヤロー
勝負するかァ!?
ぬかせ!!
そんなヒマ 俺にゃ
ねえんだよ!!

ぼうし かぶってるのよ↑

まったく俺様の息子ともあろう者が情けねえ
友達の…ひいては国の一大事なんだぜ
つたくうるせえオヤジだなアも〜〜〜
ダダーッ
大変なことになんのはイヤだけど罪人になんのもイヤなんだよ俺は〜〜〜
ヒュン

罪人…
ビュン
ダッ!

ゴッ
罪人扱いされながらたった一人でアイツ……
ひょい

ヒュッ

!!

ドカッ
いてっ!!

ほらほらボ～っとしてんなよ!
～～～っ

あっ コラ どこ行くんじゃ!!
だっ
へーんだチクショー!!

説教されるは
ブンなぐられるは
練習なんかやって
られるかよう!!

はっはっは
そうだろうとも!
行け行け
──っ!

ヒュン
バキッ
ぶん
ヒュッ

うりゃああ!!

ドガシャッ

はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
ガクッ

やってるこた練習と変わんないのに…
実戦てななんだってこう疲れるんだ…

殺意のある
敵と戦うことが
こんなに重圧に
なるなんて…

教えてくれな
かったじゃんかよ
伯父さん…！

俺は…
たどり着けるのか
…アグニムの所へ
……!!

アグニム…!?

何しみったれたこと言ってんだ俺は！
まだ始まったばっかしじゃねーかよ!!

まだまだァあ!!
ダァッ

あ…
あと二体……！

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ

ちっ！

クッソ…足だけじゃねえ…
腕が上がんない…まるで他人の腕みたいだぜ…
一か八か…！攻撃に全力をつぎ込む！
ガラララッ
ヒュ
ヒュッ
ヒュン
甘い!!
ヒュッ
がくんっ
げ!!

盾……
捨てない方がよかったかな…？

ラスカ!?
ボーッとすんな!!
体勢を立て直す前にとどめだ!!
だっ!
はあァあああ!!

ふいっ

キィ…ン

ところでさぁ
ラスカ…おまえ
何しに来たの？
ピーン

何しにって…コラ！
助けてやったってのに
なんだ その言い草は！

は？
助けてくれ
なんて誰が
言いました？

な…

何言ってやがんだ
この野郎！
放っといたら絶対
死んでたクセに！
死なないね！
死んだ！
死なん！
死んだ！

まーたまた ラスカくんたら 素直じゃないん だからー

なんだとォッ!

はっはっはーだ

はっ!!
うりゃあ!!
…………
チクショー
まずいまずい
このままじゃ
負けちまう〜

第5話　勇者の心

ジャーン
紋章二コ目〜〜！
そんでもって…

俺の勝ち〜〜〜！
インチキだ!!

きこえませーん
俺 素手だぞ 武器持ちの方が有利に決まってんじゃねーか!!
あ…あの…なんの話をしてんのかな…？

どっちが たくさん敵を倒すか競争してたんだ 俺18体 ラスカ15体で 俺の勝ちー
団長11体だよ もっと頑張ったほうがイイね

な…

なんて子供達だ… 戦いを楽しんでる
団長はまだケガが治りきってねーんだよ！
ヤーッまたコイツはいーコちゃんぶってよー！
すさまじい使い手もいたものだ…

そんなワケで俺達にかかりゃ楽勝楽勝！
この調子で三つ目の紋章もアグニムも軽ーくひねっちゃえー！
コイツの意見に賛成すんのはシャクだけどその通りだー！

それはどうかな…
このままでは紋章を手にすることはできても
マスターソードは手に入るまい

！
な…なんでさ…？伝説には紋章さえ手に入ればって…

正確には三つの紋章と
・・・・勇者の資格を持つ者が彼の剣を手にするとある

今の君達にその資格は無い！
違ァ…
コイツだけじゃなくて？
な…なんだよそれェ!?
俺達のどこがダメなのさ!?
さっきのコト根にもってる～
次のダンジョンへは二人で行くんだ
今の私にはそれしか言えないね
なーんだそんなことかお易いご用よなあ？
おうよ！
危険な賭けだが…今は一刻も早く目覚めてもらわねば…！
アグニムの目がとどかぬうちに…

アグニム殿！
アグニム殿はおられるか!?
バンッ
これはこれは国王…
いかがなされましたか？
娘は…ゼルダの捜索はどうなっておるのだ!?
あれからもう五日だぞ!!
兵達も不眠不休で努力しております
今しばらくのご辛抱を…

思考走査（人の考えを読む）術↑

善政をもって知られた
ハイラル国王も
しょせん人の親…か

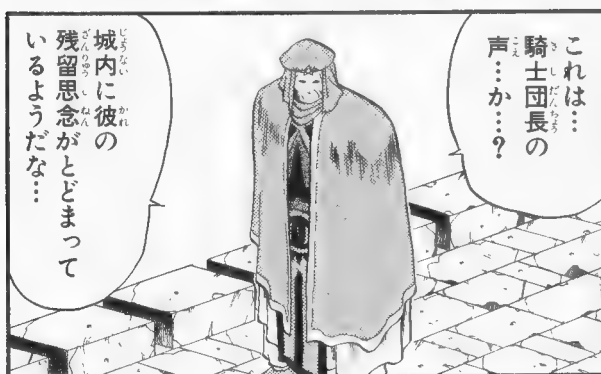
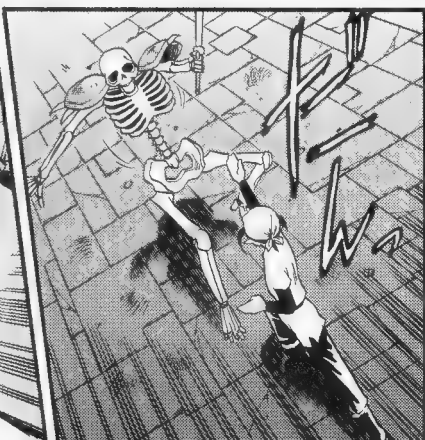
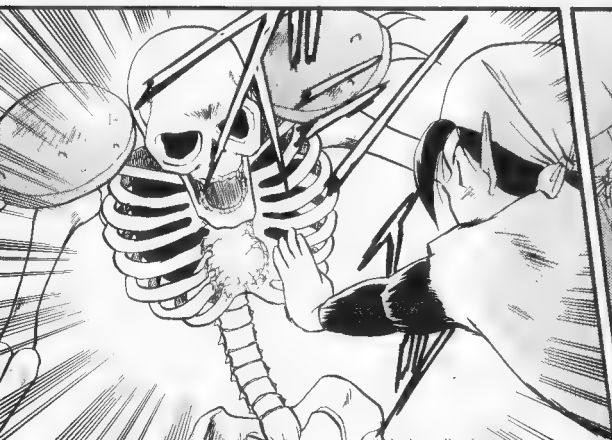
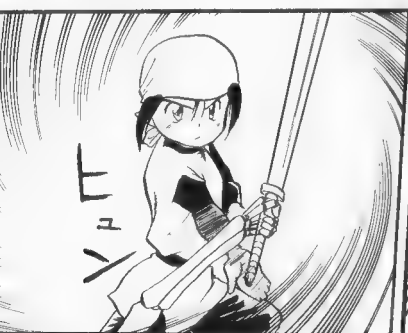
兵の士気 忠誠心
共に低下の一途
姫をさらわれたのは
誤算だったが 相対的には
悪くない状況だな

ザンジ様…
むっ!?

これは…
騎士団長の
声…か…?
城内に彼の
残留思念がとどまって
いるようだな…

律義な性格が
仇となつた
ようだな…
しっぽを
つかんだぞ!

ゴァッ
ヒュン
ヒュン
ヒュ

ガバァァッ
スパッ
ヒュン
ドーんッ

あらかた片づいたな

今んトコ21対21で同点か
最後の大物が勝負のカギだな……

!

誰だ!?

まだ魔物が残ってるかと思ったんだけどなァ…
気のせいか
…あっ!!
だーっ

へっへーん
おっさき〜〜〜！
待てコノヤロ…！
エモノの一人占めはよくねえぞ!!
ヒッヒッヒ天分飛毛脚練法できたえた足だ！
追いつけまい！
……

周りを穴でかこまれたフィールド…
落ちたらアウトってワケね

カッ

行くぞォムカデ野郎!!
ひょぅ!!
ザザッ
思ったよか速えな…
まてまてまてーい!!

タッ
ス
俺もまぜろィ!!

来たなァ足手まといィ!
ぬかせェコイツも倒して俺が勝つ!

来るぞ!!

ガッ

あ…
あ…

あ～～～～～～!!

インチキだあァ～～～……!
あ…あの…
一応言っとくけど…
ワザとじゃないよ…
信じないかもしんないけど
………

………

ラスカよ永遠に!!
なーむー
おまえのことは忘れないぞ!!
てなわけで
とりゃー!!

いてて…
あー…死ぬかと思った

なんでェ暗いから えらく深く見えたケド
死んじまう程じゃあないな

くっそォリンクのヤロー!
インチキにも程があるぜ!

………
あいや〜

天罰覿面!
ケケケ

ど…どしたい
ラスカ…
息が上がってん
じゃねーか…

へっ…冗談…
リンクこそ
目が死んでんぞ
………

よいしょっと…
先行っちまうぞ
おー
行け行けー

どーせピンチになる
だろーからな
そこをさっそうと
俺が救うって
寸法よ…

バーカ
おまえの出番
なんかねえよ
奴は俺が
倒す!

とは言うものの…マズイぜ こりゃあ…！

全然刃が通んねえ

こんな奴初めてだ…！

このままじゃいずれ
消耗しちゃって二人共
やられちゃう…!

ちょっと待て
………
やられちゃう
ってコトは
つまり その…
ぐぐ

死…
!?

さ…さあ そろそろ
遊びは終わりだ!
ばっ
カタァつけて
やるぜ!!

くらえ!!
天分八心拳
浸透勁!!
暗打
双撞掌

ヒューン
へ？
浸透勁が効かない…!?
そんなバカな!!
ザッ
調子に乗りやがってバッカ野郎～～!
剣なんか効かないってわかっちゃいるけど…
やるしかないか…!!

ちっくしょー
…斬れろ!!
斬れろよォ!!
!!

どあっ!!
ダメだ…
このままじゃ
ラスカが死んじゃう…!
そして じきに
俺も…!?
く…苦し
…い…!
ギギッ…
メキ

死…！
私の最強呪文の直撃を受けたのだよ？
即死だ

冷たくなっていく肌…

青ざめていく顔…

俺達も……？
いやだ…いやだ！
死にたくない!!

教えてくれ伯父さん…
俺はどうしたらいいんだよ…!?

!!

よいかリンク
この技は
禁じ手だぞ
えー?
なんでー?
威力が ありすぎて
危険だからた
それが木刀でもな
使えねー技
教わったって
しょーがないよォ
いずれ使う時が
くるかもしれん
だろが
いずれ?
いずれって
いつよ?
さあな…
大切な人や物を
命がけで守らねば
ならん時…
男にはいつか
そんな時が
くるもんさ…
そっか…
そうだった…
………
禁じ手になんか
するから忘れてたよ
伯父さん……!

必殺!!
回転斬り!!

チェッ！
今回も俺の
負けかよ…

勝負か…
どうだってイイよ
そんなこと…

………

そだな…

よく戦い抜いたな
二人とも！
パチパチ
だ…
団長!?

今回は二人を
試すようなマネを
してすまない
しかしマスターソードを
手に入れるため
一刻も早く目覚めて
ほしかったんだ

勇者の心にね
!

始めから強い者は
強者ではあるが
勇者ではない
??
己の弱さを知り認め
それを超えた者こそ
勇者たりえる

絶体絶命の
ピンチと恐怖
君達は自らの力で
それに打ち勝った

新たな勇者の誕生だ…！

ところで団長…
今更だけど姫様をほっぽっといてイイのかな…

心配いらないよ
神父様が教会全体に強力な結界を張っている
魔の力を持つ者は立ち入れやしないさ

絶対にね
ふん…
ここか…

ガゴ
ぐっ

ここから脱出したのか…
小賢しい
脱出間際に強い念を残したのが運のつきだ

ゴゴゴゴゴ

さあ この道は どこに通じて いるのかな!?

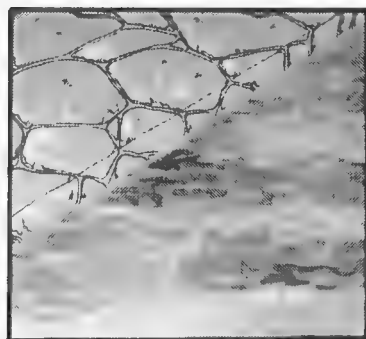
願わくば ゼルダ姫の もとへ!!

どうか されましたか? 姫…

むん

第6話
マスターソード
こっちか…

小僧も団長も
見事に姿を消したと
思ったら
こんな
隠し通路が
あったとはな
それにしても
あの小僧…
リンクとか
いったな

なぜだ…
なぜ これほど
奴の存在が
気になる…？
たかが子供一人に
なぜこうも意識が
引かれるのか…

ガノン様復活の暁には
奴の存在など
ケシ粒のような
もの…
せいぜい
抵抗するが
よい…

団長達…マスターソードを手に入れたでしょうか…

そうですね…紋章は三つとも入手したということですから間もなくでしょう

大丈夫ですよ
剣さえ手に入れば
アグニムにも
対抗できる…
お城へも
すぐ帰れ
ますよ

ジャッ…

ダメですね
私は…
わずか五日
離れただけでお城が…
お父様やお母様が
恋しくなってしまう…

彼は…
リンクさんは
強いのね…
唯一の身内が
殺されたというのに
くじけず戦っているの
ですから…
私も頑張ら
なくてはね…

ドゴオッ!!
!?
神父様!!
姫様はここを動かないでください!!
たーっ!!
だだだだ

!!
バカな…そんなバカな！
貴様一体どうやって…
アグニム!!

教会に張りめぐらされた絶対対魔結界…見事なものだ
確かに私の力ではこれを打ち破ることはできないだろう
しかし聖呪力の源祭壇の下はガラ空きだったぞ

しかも都合の良いことに城からの抜け道がその祭壇に通じているとはな

抜け道…
祭壇の下……!?

そういえば…しまった──!!
全てはここから始まったのだ…
神父様！何をなさっているのです！
団長が脱出してきた時ドタバタしてててそれで…!!

ククク…
感じるぞ
七賢者の血を
間違いない…
ゼルダ姫は この
教会にいるな
くっ…

その通り
私は
ここです！

姫様!?

これは これは
潔いことだ
しかし その剣で
何をなさる
おつもりか？

貴方を…
斬ります!!

やあああ
ピクッ

ギリ
おのれ
アグニム…
姫様は渡さん!!
ブワッ
ズシ
ドゴォ
うあああああ!!
大事な儀式を
ひかえている
のだ
余計な魔力を
消費させないで
くれよ
ドシャ!!

ゼルダ姫はいただいていくぞ！
はーっはっはっはっはっは!!
くっ……

なんですって!?

なんてこった……
なんてこった!!
ぐぐっ…

だ…団長?

…最悪の事態だ…
姫様がアグニムの手に落ちた!

なんですって!?
ど…ど…どうしようヤバイよヤバイよ
た…助けに行かなきゃ…あっ!
でもでもマスターソードどうすんのさ!?
きーっ!!
落ち着くんだ!!
私とラスカ君は姫様救出に城へ向かう!
リンク君はマスターソードを入手次第こちらに来てくれ!

え――!?
オレはマスターソードのかわり
お…俺も城へ行くよ!

ここは私の指示に従ってくれ!!
たのむ…時間がないんだ…!!

はぁい…

よし行くぞラスカ君!!
だぁっ
団長こそオレの飛毛脚について来なよ!!
たのむぜラスカ…団長…!

バッ

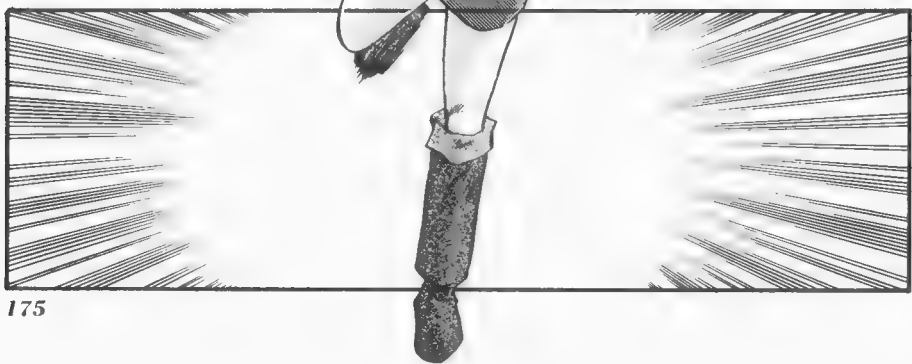
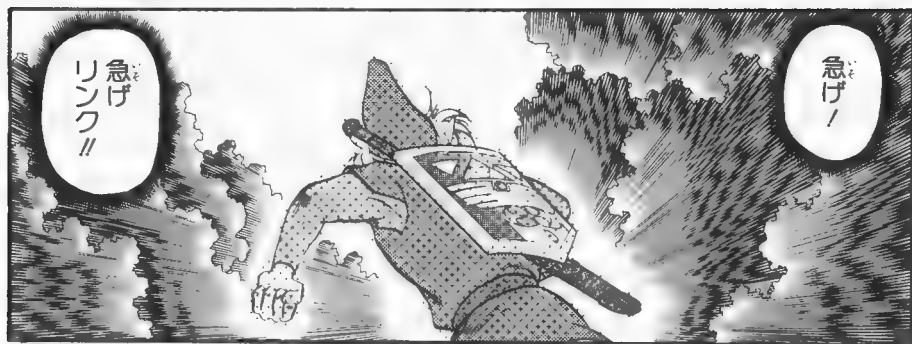
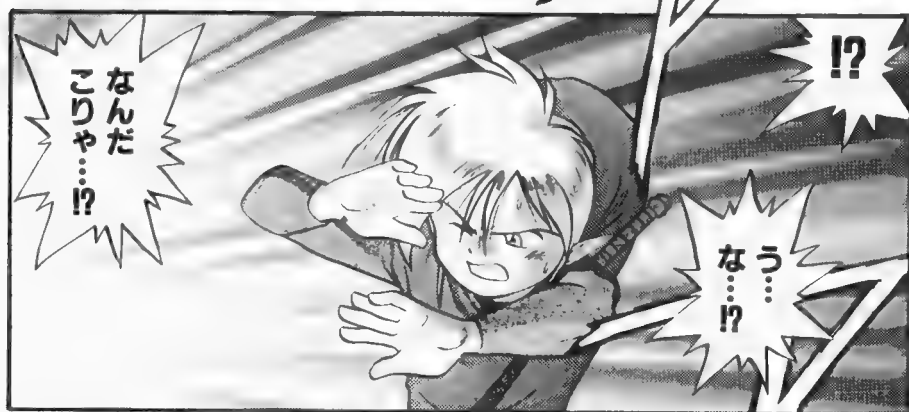
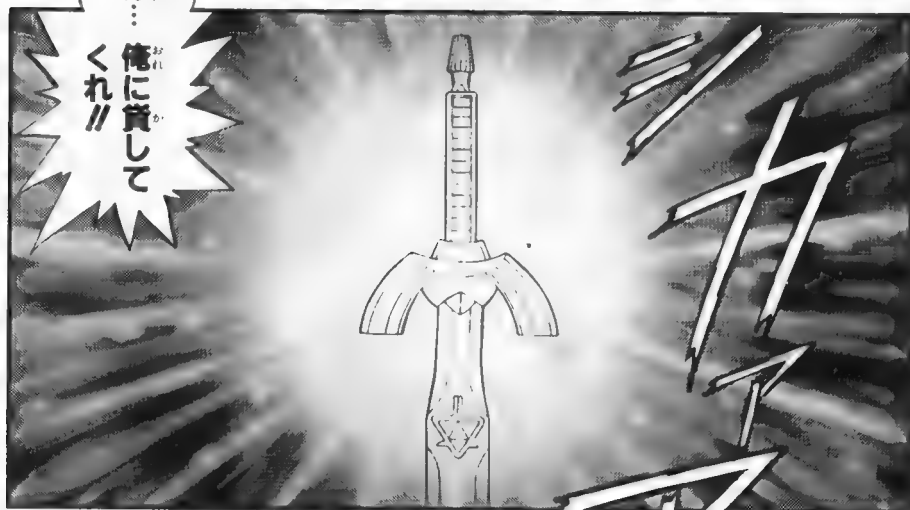
霧が濃くなっていく…！
間違いない…マスターソードはこの先にある！

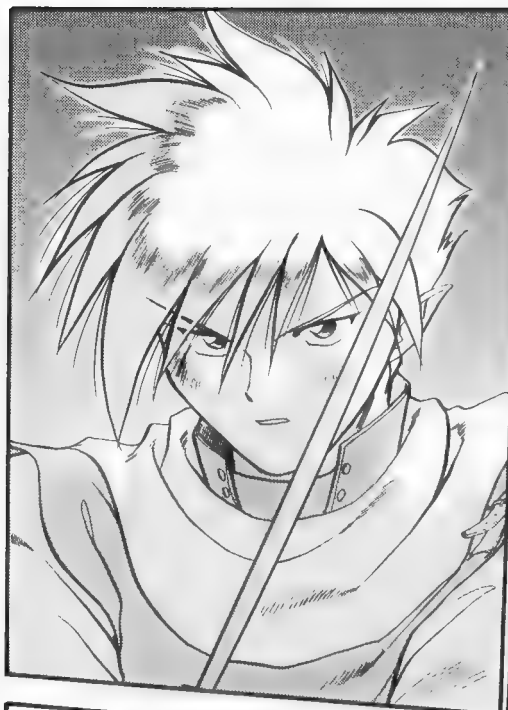
団長もラスカも強い…
けどアグニムの魔力も底が知れない…
俺が行くまで持ちこたえてくれ…！

急げ!
急げ
リンク!!

目の前で知人が
…友達が…
人が死ぬのを
見るなんて もう
たくさんだ!!

マスターソード!!

マスターソードよ…
俺に資格があるのなら…
その力…俺に貸してくれ!!
カァァァァ
!?
う…な…!?
なんだこりゃ…!?

貴様か
わたしの眠りを妨げるのは…
だ…誰だ…!?

数百年振りの来訪者が
貴様のような子供だとはな…
歓迎するぞ!
来い!!

ちょ…
ちょっと待って
………!!
なんで…!!
すごい殺気と
技のキレだ…!
アグニムの
トラップか…!?
ならば
………
倒す
まで!!

ピュッ
ビビュッ
ヴォオッ
ビュン
ギュオッ
ズシャッ

頭突きは接近戦においてはとても有効な攻撃方法だ!カッコ悪くなんかないぞ!(体当たりもね)

ゴッ
ゴッ

ゲホ
ゲホ

とどめだ!!

ばあぁっ
回転斬り!!

キィィィィーーン
ズシャッ

しのいだ…
しのがれた!!
俺の最強の
技が…!!
ザザッ

……いや

いいや
まだだ!!
最強の技が
破られたから
って俺は…

俺は まだ
負けたわけじゃ
ないぞ!
なんとしても
マスターソードを
持ち帰る!!

ふん…
コイツめ…

!?

ガッ

持って行け

マスターソードが
語っている…
おまえと一緒に
戦いたいとな

おまえの力…心…
しかと受け取った!
その決意を剣に込めて
行くが良い 勇者!

勇者の心ある限り
剣の力はその手にあり！
忘れるなよ…！
ちょ…
ちょっと待って！
あなたは……!?

マスターソードを得るための最終試験…
剣の番人…
…だったのかな…そんな感じだよね

伯父さん…ここで見ててくれよな
すべて終わったら迎えに来るからさ

ガッ

さあて行くかマスターソード!!
決戦だ!!

待ってろよ
アグニム!!
てめえの悪事も
今日限りだ!!

掲載・月刊Gファンタジー平成6年10月号～平成7年3月号

ゼルダの伝説～神々のトライフォース～1　おわり

かぢば あたる の

It's Easy Going!! ってワケだ これが！

はいはい どーも。かぢばっスよ。
トライフォースの巻の1。お届けします。

ついこないだ始まったばっかの
ような気でいたけど
早いもんで、もう単行本です。
楽しんでいただけてるでしょーか？

ちっとも出番ないクセに
人気者のゼルダ姫。
本編で出て来ないので
せっかくだし…ってワケの
正装です。

連載開始前の絶大な不安は現実の
ものとなり、「夢島編」2巻 あとがきで
大見栄切った割に、大して進歩のない
出来に、申し訳ない気持ちで一杯です。

本当、ここでは本編の言い訳やら、ラスカ君の
設定やら、書きたい事は山程あるんだけど
ありすぎて書き切れないし、第一みっともないんで
ヤメますね。

まあ要するに、毎回々々、言い訳しなくて済むような
作品作りに全力をつくしゃあ良い訳だよね。
頑張りまーす。いやマジで。

でも書いちゃう♡

★★★★★★★★★

ラスカ親子の天分八心拳は
架空の拳法で、実在しませんです。
今話題の八極拳をベースに 八卦掌、
陳式太極拳、その他 諸々混ぜくった
スーパーオタク拳法です。
『体に八拳有り(頭、肩、肘、拳、掌、腰、膝、足)。
各々に魂(心)を宿し、天をも分かつ
一招を打つ』…てワケで、天分八心拳
なのですね。

★★★★★★★★★★

アシストブラザーズ
奥田剛司 君
鈴木淳策 君
いつもセンキウな！
&
臨時の助っ人 大勢
&
大好きな キミ達へ

愛はマンガでお返しするね♡

GFC

1

1995年6月27日　初版発行

著者
かぢばあたる

編集人
保坂嘉弘

発行人
千田幸信

発行所
株式会社 エニックス
〒160 東京都新宿区西新宿7－5-25木村屋ビル
〈編集〉ＴＥＬ03（3369）1957〈販売・営業〉ＴＥＬ03（3369）8982ＦＡＸ03（5330）3120

印刷所
大日本印刷株式会社

P. H. 2

ISBN4-87025-541-3 C9979
Printed in Japan

SUPER FAMICOM®

ゼルダの伝説®

1

神々のトライフォース

かぢばあたる

かちばあたる

夕暮れ迫る街角で、
3つボタンをもて遊びゃ、
締め切り魔神が忍び寄る。
やってくれるぜおまいさん。
身を切る木枯らし寒い風。
ここでガマンが男坂。
花のハイラル夢芝居、
度胸で勝負と参りましょう。

SUPER FAMICOM®

ゼルダの伝説®

神々のトライフォース

1

ファンタジーコミックス

かぢばあたる

GFC

ゼルダの伝説 神々のトライフォース 1 かぢばあたる

ENIX

9784870255418

ISBN4-87025-541-3
C9979 P780E

1919979007806

雑誌 48070-42
定価780円(本体757円)

エニックス